

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
推進校実施報告書

1 学校名：岩手県盛岡市立厨川中学校

2 実施日時：事前指導（ジャム作り）2018（平成30）年1月9日（火）

事前指導（保健体育科）2018（平成30）年1月17日（水）14:30-15:20

2018（平成30）年1月18日（木）11:50-12:40

2018（平成30）年1月19日（金）9:50-10:40

講演 2018（平成30）年1月22日（月）13:30-14:40

3 対象：事前指導（ジャム作り） 全校生徒 635名

事前指導（保健体育科） 240名（1年生全クラス）

講演 全校生徒 635名 教職員 55名 保護者 約 25名

4 派遣オリンピック：宮下純一さん

（オリンピック競泳男子 400m メドレーリレー 北京大会 銅メダル）

5 授業内容：講演

平成30年1月22日（月）に、盛岡市立厨川中学校において、オリンピック教育兼「盛岡市立厨川中学校創立70周年記念講演会」という位置づけで、北京オリンピックにて競泳で銅メダルを獲得された宮下純一さんによる「出会いに感謝～思い続けたオリンピック～」という演題の講演が行われました。

本講演を受講するにあたり、おもてなしの心を育むとともに、被災地の現状を伝えるために、震災の際に大きな被害を受けた陸前高田市で取れた「ふじ」という品種のリンゴを使って、盛岡市の名産品であるリンゴジャムづくり体験を行いました。また、1年生全生徒240名は、事前に保健体育科の体育理論の授業において、日本チームが銀メダルを獲得したリオデジャネイロオリンピック男子4×100mリレーを題材に「運動やスポーツの学び方」についての学習を行いました。

講演では、宮下さんの水泳競技との出会いから、オリンピックに出場しメダル獲得に至るまでのエピソードと、人生のターニングポイントとなる大切な人との出会いについてスライドを使ってご紹介いただきました。

子どもの頃の宮下さんは、意外にもお風呂で頭を洗う際にはシャンプーハットが必需品だったほど水が嫌いな子だったそうです。そこで、心配した両親によって水嫌いを克服させるために無理矢理スイミングスクールに入れられ、結果的には5年後の10歳の時には水泳で全国大会に出場するまでに至ったそうです。このような水泳を始めた経緯のお話をもとに、「嫌いなことでも継続すればやがて好きになり結果もついてくる」と生徒たちに伝えていました。

さらに中学校時代は、思春期で最も遊びたい盛りの時期にも関わらず、水泳の大会で良い成績が出るなど伸び盛りであったことから、土日も休みなく練習しており、一番水泳が嫌いになった時期だったようです。次第に友だちは気を遣って遊びにも誘ってくれなくなり、その当時は、水泳のために大切なものを失っていく気がしたそうです。周囲の人に水泳をやめたいことを相談しても「逃げるな、やめるな、がんばれよ」という返答ばかりだったといいます。しかし、中学校のときのY先生だけは、「そうか、嫌ならやめろ。楽しくないんやろ」という

思いがけない返答とともに「お前は何のために水泳に取り組んでいるのか。お前に勝ちたいと、お前を目標に一生懸命努力している選手たちに申し訳ないという気持ちはないのか」と諭されたそうです。宮下さんは、「先生に、僕の気持ちが分かるのか？水泳をがんばれば、がんばるほど友だちは離れていく・・・」と正直に言うと、Y先生からは「壁は越えられる人に訪れる。俺は、お前が乗り越えるところを見てみたい」と言われたといいます。この出来事を契機に、「自分は本当に何がやりたいのか」、「自分にとって最も大切なことは何か」を考えるようになり、「オリンピックでメダルを取りたい」と本気で思えるようになったそうです。

最後に、生徒たちに伝えたいこととして「夢を叶えるために」大切な4つの言葉と、3つの行動目標を紹介されました。4つの言葉とは、1) 明確な夢を持ち続け、決して諦めないこと、2) 人との出会いを大切にすること、3) 自分の気持ち・意思を大切にすること、4) 続けさせてもらっている精神で感謝の気持ちをもつことです。3つの行動目標とは、チャレンジ、チェンジ、チャンスです。宮下さんは、自らの競技生活を通して学んだ4つの言葉と3つの行動目標をもとに、自分にはチャンスがないと思っている人は、実はチャレンジとチェンジができていないために目の前のチャンスに気付いていないのではないか、と生徒に問いかけていました。

講演後の質疑応答では、3年生の男子生徒から「もうすぐ高校入試があるのですが、緊張してしまいます。どうすればいいか？」という質問に対して、自らのレース前のことを思い出しながら、本番で緊張しないようにするためには地道にしっかりと勉強するしかない、と激励されていました。

講演全体を通して、宮下さんは、生徒たちに発問を投げかけたり、生徒と意見交換をするなど、お互いに楽しみながら話しを進められたので、講演の最中は生徒の笑い声と驚きの声が頻繁に聞こえてきました。

## 6 講演の様子



【 講演の様子① 】



【 講演の様子② 】



【 質問する生徒 】



【 集合写真 】